2020年度 第1回 常任理事会　議事録

日　時：2020年8月4日（火）13:00～
場　所：オンライン会議（Zoom利用）

Ⅰ．　開会　司会進行：榎本高士（総務担当常任理事）

Ⅱ．　会長挨拶：コロナ禍で集まるのはなかなか難しく、事業の中止は仕方ないことだが、振り回されないようにしたい。まずは家族、会社を守ることがリーダーとしての最優先なのでリスクを減らす判断を。事実を正しく知ることは難しいが、基本的なことをやることが大切。現在感染者は10万人に対し3～5人/１週間、死亡者はそのうちの約2.5～3%、今後感染者が増えれば死亡率も下がると思う。また、ワクチンが開発されたとして、接種した場合の重篤な副作用も10万人に3～5人といわれている。その数は交通事故にほぼ同じで、比較するとそれほど怖がるものでもない。まずは事実を受け止めて、大人として冷静に判断することと思っている。

　新体制になってから初めての常任理事会。まずは、組織としての正しい形を改めて考えたい。直属の上司と部下の関係性を構築し、組織の役割を意識していただきたい。会議では、意見を交わすのはよいが論破することが勝ちではない。会議の場で意見を交わし、着地点を探すことが理事会の役割。

　また、正副会長会議では来年度の予算を協議している。これを機に理事会全体が予算を把握することで運営を考え直すきっかけとしたい。

Ⅲ．　議事

1. 議長選出：山口康二副会長　　議事録作成人：事務局 長島きよ子
2. 定足数の確認：常任理事出席30名（31名中）　監事出席3名（4名中）　顧問2名　（4名中）　オブザーバー1名
　事務局3名　合計39名　※出欠名簿添付
3. 議事録署名人：出席の代表理事及び監事が記名押印する。
4. 資料及び議題の確認・新議題の採択　前回議事録の確認
　＊資料はメール配信・各自ダウンロード
　＊議事録確認（メール配信済み）2020年度第1回理事会、2020年度第2・3回正副会長会議
　＊新議題なし

【1. 審議事項】

（1）入退会について　（入会者2名・退会者7名 ）　射場　資料 入P1 退P4

入会：2名

射場　（一社）グッドリレーション協会は石材店ではないが、本人および推薦者の竹ノ内氏と電話で話し、正会員として入会を断る理由はないと判断。

伯井　数回お会いしているが、誠実な方だと思う。

→全会一致可決

退会：7名

意見なし→自動承認

（2）【地区】中国四国地区全体会議 in 徳島について　2020/11/12～13　岡谷　資料P13

岡谷　徳島県支部で協議し、コロナの状況を踏まえ、今年度は延期を決定。

→全会一致可決

（3）【会員拡大委】ニュースレターの作成　射場　資料P15

射場　例年入会者は20～25名で推移。今年度は6倍の150名目標とした。支部で1名の入会を実現していただきたい。それとは別に各理事が1名。さらに地区長（会員拡大委員）は2名、正副は3名の入会促進を目標にしていただきた

い。　ニュースレターを 7 月、9 月、11 月、1 月の石産協通信で会員に配布し、会員外は D 取得者 1,100 社に 4 回発送する。部会長には部会員が協会員以外に訪問する際、ニュースレターを配布してほしい。在庫は事務局まで。

大塚　部会のミッションとして協力したいが、ニュースレターの内容にターゲットがどれくらい反応するのか、その結果はどのようにフィードバックしたらよいのか。

射場　石産協パンフレットにフィードバック意見を反映させたい。

吉川　集まることが少ないので、どうやって部会員の手元に届けるか、次回部会で協議する。

→全会一致可決

(4)【広報委】協会ブランディング企画(動画 CM)　吉野　資料 P19

吉野　前年より予算増となったのは、広告発信数 3 ヵ月間で 10 万通の配信予定を、前回 1 ヵ月で配信できたため、今年度は配信数を増やし、3 ヵ月間で 20 万通に設定した。動画の内容は会員企業の SNS や HP で使用したいとの意見があったが、著作権の制約があり転用できなかった反省点をいかし、会員をモデルに起用し、HP などで自由に利用できるようなものにしたい。石屋の仕事に消費者が興味を持ってもらえるよう、今回は主に、採石、加工の仕事を取り上げ、今後は研磨、字彫、お墓 D の PR なども考えている。テーマは「良いお墓を作ります」2 分以内で作成する。

配信予定は秋分の日。(サンプル動画を上映)

→全会一致可決

(5)【CS 委】お墓物語Ⅲ　クラウドファンディング販売について　大北　資料 P23

大北　すでに可決されている事業計画と販売方法が異なるため再度上程。主に正副会長会議の質問に対し説明する。

・クラウドファンディングを利用することで印刷部数を増やしたため、補正予算を組んでいる。

・非売品から定価販売に変更した理由。①会員限定販売＝非売品では配布ルートが狭いため、買いたい人が購入できるようにする　②だれでもが様々なところで買える　③価格がつくことで作品応募者が価値を感じる。他団体でも同様の冊子が定価販売とされている。

・会員価格と定価に差がないという意見があったため、定価を 450 円→550 円に変更。

・会員限定にせず、一般に販売を公開するもうひとつの理由は、「お墓物語」がお墓の価値を伝えたいという我々の思いと合致する作品が多いから。

・クラウドファンディングについての説明は CS 委員の中野氏から説明

中野　自分でも利用しているが、最大のメリットは広告宣伝効果が高い。これまでの流通方法を変えなくても良いかもしれないが、起爆剤として新しい手法を取り入れチャレンジすることで、目標金額に向かってビジョンを明確にし、努力をするのも必要。

大北　石産協は多くの無償活動をしてきているが、クラウドファンディングを利用することは、信用を現金化するための手法で、今後の石産協の活動にも幅が生まれると思い、チャレンジしてみようと思った。

議長　すでにお墓物語Ⅲを作成することの議案は可決されている。会員へはこれまで通りの販売だが、非会員、消費者、より広く普及したいという理由で、委員会が新しいチャレンジの販売ルートを再上程するもの。

佐野　今回はカラーで提供する。

小野　どのくらいの期間、売上予算でクラウドファンディングを考えているのか。

大北　会員向けの販売をメインとするが、クラウドファンディングは約 3 週間の設定で、「新しい手法で販売しているお墓物語」ということを広く告知する狙いがある。売上は広告塔である委員会メンバーの努力次第でもある。

藤原　価格設定が細かすぎる。

大北　大幅な変更はしないがクラウドファンディングの細かい金額設定は再度協議する。

議長　著作権について、販売しても良いのかという議論もあったが。

大北　募集要項を確認したが、著作権は協会にあるので、販売することに問題はない認識。

上野　日本香堂で同様の本を発行した際、1 件ずつ掲載の許可を得た。売り方に躍起にならず、本来の趣旨のとおり、1 人でも多くの消費者に読んでもらえるような普及活動を忘れてはならない。

福川　手法はどうであれ、1 冊でも多く配るために会員価格も含め安くしてほしい。興味のない人にも配る方法も考え、委員メンバーだけで盛り上がらず、地方の会員のことも考えてほしい。

大北　会員価格はクラウドファンディング終了後の販売なので委員会で再検討する。

志賀　クラウドファンディングとブランディングはセットで考える必要があると思う。協会活動をブランディングのために YouTube チャンネルを作ってほかの活動もアップし、動画で見られるようにしてほしい。会員メリットにもつながる。HP に連動すれば、もっと拡散できる。

（→協会チャンネルあります。HP 上で一部公開していますが、ユーチューバー不在のため、活用しきれていません。）

議長　CS 委員会だけでなく広報委員会でも検討を。

井口　各会員が出入りするお寺に配布することで檀家の手に渡り、配布数も増えると思う。

議長　価格は委員会に委ねる。採決は「新しい手法クラウドファンディングを使い、本に定価販売価格を印字する」

→白票 1　福川　予算書が決まらない段階で無条件では賛成しかねる

賛成多数で可決

（6）【総会】第 11 回定時総会開催について　中江　資料 P35

中江　コロナの影響で規模縮小、オンライン開催し、全での議題は可決承認されました。縮小したことにより、大幅に予算削減となった。

→全会一致可決

（7）【総会】第 12 回定時総会開催について（日程・場所）　中江　資料 P41

中江　2021 年 6 月 18 日（金）　ANA クラウンプラザ岡山

藤原　総会開始前に岡山県内で活躍企業数社のパネルディスカッションを企画。エクスカーションは「石」とは離れた内容を検討中。

→全会一致可決

【2. 討議・報告・依頼事項】

（1）【支部助成金】北海道「幸フクロウ運動」実施について　三上　P42

三上　継続事業のため、児童養護施設も当会の活動をよく理解してくれている。フクロウの台座には子供たち直筆の「元気」という文字を彫り、寄贈している。毎日石像の前を通って施設から登校していくので、児童が成長する日々の生活の中で幸フクロウが関わってくると思って活動している。また、寄贈して終わりではなく、メンテナンスも行っている。

（2）【地区】北陸・東海地区全体会議について　加藤　なし

加藤　数か月前から計画していたが、予定していたホテルがリニューアル工事で使用不可になり、コロナの影響もあり、延期を決定した。

（3）【大阪府支部】支部活動について　能島　P44

能島　コロナでリアルに集まることもなかなかないが、大阪では支部活動行う予定。

射場　大阪府支部活動が低迷していたので企画した。対象は大阪府支部会員だが興味がある方は連絡を。

（4）【墓石部会】第 1 回部会会議　延期について　鈴木／佐野　P45

佐野　7/15 に企画していたが講師が体調不良のため延期し、10/7（水）にリアルではなく Zoom 開催とする予定。

（5）【墓石部会】改葬・改修ネットワークについて　鈴木／佐野　資料投影

佐野　ほぼ完成したため、使用方法を簡単に説明。改めてチラシを作成し、9 月の石産協通信でも報告する。

（6）【CS 委】お墓相談ダイヤル　役割について　　大北　P46

大北　現在は正副会長で月・木にローテーションで電話対応している。

佐野　来年からは常任理事にも対応してもらいたいと思っている。

（7）【広報委】お墓参り訴求プロジェクト「母の日参り 2020」について　　吉野　P53

吉野　今年度はデザインを変更し配布。コロナが流行し始め、全体的に盛り上がりが欠けたがパートナーシップ内でも拡散に協力してもらった。自社では営業車に貼って動いている。

（8）【お墓 D 委】第 17 回お墓ディレクター検定試験　開催中止について　小野　　なし

（9）【お墓 D 委】お墓の教科書改　訂版 2020 年版　発刊について　小野　　P56

小野　コロナ対応で検定試験の中止を決定した。教科書は予定どおり発売されたので、来年の試験に向け準備をしてほしい。模擬問題集は来年試験前に発売予定。

佐野　様々なリスクを考えた上で、今年度は中止を決定した。

（10）【女性 NW 委】女子力アップセミナー開催について　　西村　P57

西村　9/8（火）19 時～Zoom セミナーを開催する。女性限定 20 名。

佐野　本日参加の理事は、ぜひ周囲の女性に PR をお願いしたい。

（11）2021 年度予算編成について　　森田/中江　P66

中江　森田会長の冒頭あいさつにもあったが、2021 年度予算を黒字化させるため、正副で繰り返し協議を行っている。理事会などをオンラインとし、会議室代、理事交通費、資料発送代をなど経費削減し、黒字の予算書を作成したが、現在の会費収入だけでは地区部会委員会の事業はできないという内容。事業を行うための方法としては以下の４つ。

①　参加者実費負担で行う。

②　事業収入を各事業にまわす。（産地証明、書籍販売など）

③　入会金を積み立ている基金を取り崩し事業にまわす。これまで取り崩したことはない。なお、お墓 D 積立金はお墓 D 事業に使用するためのもの。2019 年度より受検料および更新手数料は他の事業にまわすことはできなくなった。

④　支部補助費（支部会員数に応じ 1 社 2 千円を支給）を地区の事業にまわす。

本来なら会費収入で事業を行えれば一番良いが現状では無理、また、会費の値上げを視野に入れるべきかもしれないが、まずは森田会長の所信にあるように会員拡大をしながら、選択と集中で事業計画し、予算を生んでいきたいと思っている。次の理事会では協議の場を設ける予定。

森田　法人会計として最低の必要経費など、資料をよく確認し理解してほしい。理事会の審議によって行う各事業は収益につながるものもあるので、考えて自社、支部会員の購入につなげてほしい。

（12）豪雨災害について（九州、岐阜、長野）　　各地区長　　なし

寺田（九州沖縄地区）熊本県人吉市の会員（いなば）、大分県横尾支部長ともに被害の大きい地区だったが、大きな影響はなかった。

加藤（東海地区長）被害の情報はない。

堀（北関東信越地区長）被害の情報はない。

その他なし

＜監事講評＞

伯井：盛りだくさんな議事だったが、クラウドファンディングなど、新たな取り組みはコロナの状況でも活発で素晴らしいと思った。その他の事業も簡潔に報告されていた。

犬塚：予算はなかなか難しいことだが、大事なことだとおもう。

井口：集まることができず、残念だが、この状況でも考えることは大事なこと。

長江：コロナだからできることもある。考えて動くことが石材業界の未来につながっていくと思う。先の明るさの見える常任理事会だった。

白木：人が変わると、考えることがまったく変わってくるのだと感じた。意見は様々あるが、新しい企画もまずはやってみる。石産協は若い人がでてきて、新しいことにどんどんチャレンジし、活躍するところが素晴らしいと思う。

今後の予定

9/24（木）　第 4 回正副会長会議　議長：佐野副会長　オンライン Zoom に変更（リアルなし）

10/13（火）　第 2 回理事会　議長：佐野副会長　オンライン Zoom に変更（リアルなし）

（以降の開催はリアル・リモート未定）

閉会

2020 年 8 月 4 日

議事録署名人　：　会　長　森田　浩介　㊞

：　副会長　瀬川　賢孝　㊞

：　副会長　上野　國光　㊞

：　副会長　水野　充弘　㊞

：　副会長　福川　修介　㊞

：　副会長　中村　卓史　㊞

：　副会長　山口　康二　㊞

：　副会長　佐野　雅基　㊞

：　監　事　伯井　　守　㊞

：　監　事　犬塚　克明　㊞

：　監　事　井口　健二　㊞

議　　長　：　副会長　山口　康二

議事録作成人　：　長島　きよ子

＊押印原本は事務局にて保管